

読得
ヨミトク

No.46

拡大が加速する中国のコーヒー市場

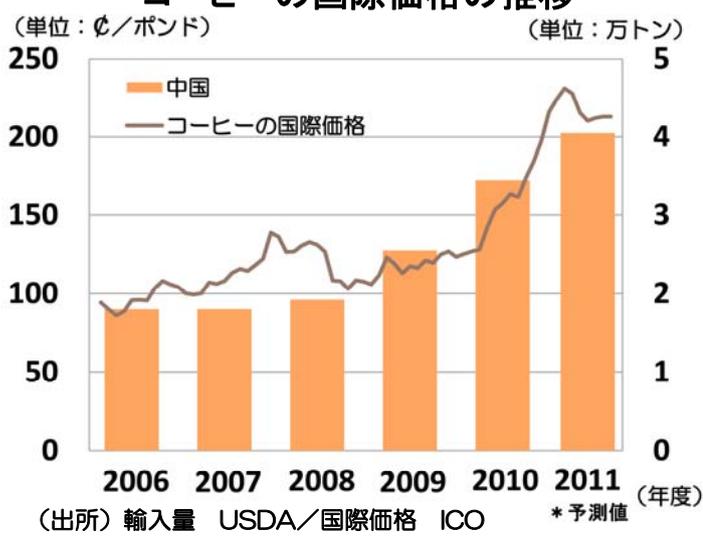
コーヒーの国際価格が高騰しています。2006年はポンド当たり95.75セントであった平均価格は、今年9月には213.04セントと約2.2倍になりました。その要因のひとつとして中国をはじめとするBRICS諸国の需要増加が挙げられています。

中でも、注目したいのは中国です。お茶のイメージが強い中国ですが、米農務省によると、2010年度の中国のコーヒー輸入量は3.45万トンで、2006年度と比較して約1.9倍となりました。中国のコーヒー一杯当たりの平均価格は25元（約300円）程度と言われており、マクドナルドのビッグマックが約11元（約132円）であることを考えると、決して手軽とは言えません。しかし、中国国民の所得水準の向上により、コーヒー市場は若者を中心に拡大傾向にあるのです。

こうした状況を踏まえ、世界約50カ国で展開している世界最大のコーヒーチェーン・米スターバックスコーヒーは、同社ホームページによると、中国への出店を現在の約500店舗からいずれ数千店に拡大するそうです。さらに同社は、2007年からプーアル茶の名産地である雲南省で栽培されたコーヒー豆を購入。積極的な中国展開は話題となり、今年7月には雲南省のコーヒー・農業会社、愛二農牧集団と合併会社を設立し現地密着を進めることを発表しました。良質な雲南省産コーヒーは、他のコーヒーメーカーからも注目を集めており、今後輸入だけでなく生産の伸びも予想されています。

いつの日か、世界を席巻してプーアルコーヒーがプーアル茶より有名になる日が来るかもしれませんね。

中国のコーヒー豆輸入量と
コーヒーの国際価格の推移



中国と日本の生活インフラ価格

	中国・上海		日本
	現地価格	円換算価格	現地価格
コーヒー (1杯あたり)	25元	300円	495円
ビッグマック	11元	132円	320円
バス (初乗り)	2元	24円	207円
タクシー (初乗り)	12元	144円	710円
牛乳 (1リットル)	8.8元	106円	216円
ビール (350cc)	2.2元	26円	198円
コーラ (350cc)	1.9元	22円	68円

(出所) 財団法人国際金融情報センター 2011年3月末作成
*この価格は実踏調査によるものであり平均値ではありません。また為替の影響等により変動します。



本資料は、情報提供を目的としてゴールドマン・サックス・アセット・マネジメント株式会社(以下「弊社」といいます。)が作成した資料であり、特定の金融商品の推奨(有価証券の取得の勧誘)を目的とするものではありません。本資料に記載された過去のデータは将来の結果を保証するものではありません。本資料は、弊社が信頼できると思われる資料に基づいて作成されていますが、弊社がその正確性・完全性を保証するものではありません。本資料に記載された市場の見通し等は、本資料作成時点での弊社の見解であり、将来の動向や結果を保証するものではありません。また、将来予告なしに変更する場合があります。本資料に記載された個別の銘柄・企業については、あくまでも例示をもって理解を深めていただくためのものであり、いかなる個別銘柄の売買、ポートフォリオの構築、投資戦略の採用等の行為を推奨するものではありません。本資料の一部または全部を、(I)複製、写真複製、あるいはその他いかなる手段において複製すること、(II)弊社の書面による許可なく再配布することを禁じます。<審査番号:62045.OTHER.MED.OTU>
© 2011 Goldman Sachs. All rights reserved.